

会 議 議 事 録

1 会議名	令和5年度第2回長岡市文化財保護審議会
2 開催日時	令和6年2月26日(月) 13:30～
3 開催場所	さいわいプラザ3階 中央公民館305教室
4 出席者名	審議会委員 平山委員長、三富副委員長、飯島委員、田中委員、鳴海委員 長谷川委員、深澤委員、星野委員、西田委員 委員以外の出席者 竹内教育部長 (事務局＝科学博物館) 小熊館長、神保館長補佐、鳥居係長、新田主査、小林主査、 加藤主査、山賀主査、田中学芸員
5 欠席者名	羽鳥委員
6 議題	(1) 令和6年能登半島地震による文化財関係被害状況について (2) 長岡市指定文化財「順動丸シャフト」の保存処理について (3) 新潟県指定文化財「鞍掛神社」屋根の茅葺き替えについて (4) その他 科学博物館企画展見学
7 審議結果の概要	(1) 令和6年能登半島地震による文化財関係被害状況について (資料No.1) 概要を事務局より報告 (2) 長岡市指定文化財「順動丸シャフト」の保存処理について(資料No.2) 概要を事務局より報告 (3) 新潟県指定文化財「鞍掛神社」屋根の茅葺き替えについて(資料No.3) 概要を事務局より報告 (4) その他 文化財の保存・継承についての質問や意見など

8 審議の内容	
委員 事務局	<p>(1) 令和6年能登半島地震による文化財関係被害状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧長谷川家住宅は4月から開館するのか。 <p>開館する予定。蔵などで一部壁が落ちる恐れがある部分は立ち入り制限などする予定。</p>
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・旧長谷川家住宅については文化庁とは協議しているか。 <p>すでに文化庁の調査官も現地を確認している。 現在、修理の計画・見積りを作成中である。</p>
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・白山媛神社の船絵馬については、文化庁と協議しているか。 <p>文化庁と所有者の3者で協議している。現在修理計画を作成中である。 また、以前から予定していた収蔵庫の修理についても協議し、耐震診断を行ってから修理計画を作成したほうが良いというアドバイスをいただいている。</p>
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・破損した船絵馬は固定してあったのか。 <p>溝にはめてある状態で展示してあった。普段は持ち上げないと外せないようになっているので、地震で跳ね上がって外れた可能性がある。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかり固定していれば落ちなかった可能性もある。
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財収蔵センターの土器は、写真で見ると転倒防止のひもが緩んでいるが、地震でそうなったのか。 <p>地震で土器が転倒した時に重みで緩んだものと思われる。</p>
委員 事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・寺泊の揚陸土器について破損等の把握はしているか。 <p>特に連絡は入っていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財にはなっていないが、保存・継承していくべき文化財だと思うので破損等によって捨てられたりしないように、注意喚起などしてほしい。
委員 事務局	<p>(2) 長岡市指定文化財「順動丸シャフト」の保存処理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の保存処理でどのくらい現状のまま保存できるのか。 <p>20年は保存できると考えられる。それ以上については、様子を見ることになる。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・トレハロースを使った理由と利点は何か。

事務局	<p>今回はシャフトが重いので現在の収蔵場所から動かさずに保存処理できる方法を選んだ。</p> <p>トレハロースは、無害なため自分たちでも扱いやすく、メンテナンスも自分たちである程度できるのがメリットである。</p>
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・トレハロースに浸けている期間はどのくらいか。 <p>49日間である。</p>
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウドファンディングは何名してくれたのか。 <p>330人程度。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・鏝で浮いて取れた部分も後世の研究に使えるように残してほしい。
委員 事務局	<p>(3) 新潟県指定文化財「鞍掛神社」屋根の茅葺き替えについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茅は地元で集めたものか <p>地元のものではない。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・冬場に屋根にシートをかけておくと傷みが少ない。雪が積もって、落ちる時に傷む。シートを掛けておけば、葺き替えスパンが長くなり維持費が安く済む可能性がある。
委員	<p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財の保存・修理について絵本などがあるとよい。子どもたちにもわかるように伝えることができればよいと思う。
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保存活用計画の進捗状況はどうか。 <p>R 5～7年度の3カ年で作成予定。年度内に協議会を開く予定である。</p>
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・茅葺の維持には費用、手間がかかり大変だが、どのように保存・継承していくか。 <p>全国的にも茅材を確保するのが問題となっている。以前は地元で茅を調達できたが、現在は地元ではできない。また、職人の減少、技術の継承も問題となっている。</p> <p>茅葺の保存・継承は、課題が多く効果的な方法は今のところないが保存できるように考えていきたい。</p>
9 会議資料	別添のとおり